

15:42受

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第20782報)

2020年 2月 6日 15時 15分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [2月6日11時00分現在] ・サブドレン等核種分析結果 [採取日 7月19日、8月16日、9月20日、2月5日] ・集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果 [採取日 2月5日] ・福島第一原子力発電所 サブドレンのPu分析結果 [採取日 7月19日、8月16日、9月20日] ・福島第一原子力発電所構内排水路分析結果 [採取日 2月5日] ・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 護岸地下水 [採取日 2月3日、5日] ・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 海水 [採取日 2月5日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 <p>地下水バイパス一時貯留タンクグループ1の当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、2月7日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島第一原子力発電所 地下水バイパス 一時貯留タンク分析結果 [採取日 1月30日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の有(有)・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/11

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2020年2月6日 11:00現在.

【留意事項】
各計測器については、地震やその他の異常事態の影響を受け、通常の使用状態を
出しているものもあり、正しく測定されていない可能性のある計測器も存在している。
プラントの状態を把握するために、このような計測器の不確かさも考慮したうえで、増設
の計測器から得られる情報を活用して実況の検閲にも留意して総合的に判断している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 3.0 m ³ /h CS系: 1.4 m ³ /h (2/6 11:00 現在)	給水系: 2.0 m ³ /h CS系: 2.5 m ³ /h (2/6 11:00 現在)	給水系: 0.0 m ³ /h CS系: 1.4 m ³ /h (2/6 11:00 現在)	※7 ※7
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 16.0 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 15.8 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 15.8 °C (2/6 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 19.3 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 18.8 °C (2/6 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 20.5 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 19.2 °C (2/6 11:00 現在)	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 16.1 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 15.8 °C (2/6 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 20.0 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1): 19.3 °C (2/6 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A): 21.1 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 18.8 °C (2/6 11:00 現在)	
原子炉格納容器 圧力	0.08 kPa.g (2/6 11:00 現在)	2.23 kPa.g (2/6 11:00 現在)	0.40 kPa.g (2/6 11:00 現在)	
窒素封入流量 ※3	RPV (RVH-A): - Nm ³ /h (RVH-B): 15.41 Nm ³ /h (JP-A): 15.19 Nm ³ /h (JP-B): - Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (2/6 11:00 現在)	RPV-A: 6.75 Nm ³ /h RPV-B: 6.72 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (2/6 11:00 現在)	RPV-A: 8.57 Nm ³ /h RPV-B: 8.49 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (2/6 11:00 現在)	※4
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	26.3 m ³ /h (2/6 11:00 現在)	16.68 Nm ³ /h (2/6 11:00 現在)	20.50 Nm ³ /h (2/6 11:00 現在)	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol% (2/6 11:00 現在)	A系: 0.05 vol% B系: 0.03 vol% (2/6 11:00 現在)	A系: 0.14 vol% B系: 0.12 vol% (2/6 11:00 現在)	
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 9.70E-04 検出限界値 3.70E-04 B系: 指示値 - 検出限界値 - (2/6 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.5E-01 B系: 指示値 - 検出限界値 - (2/6 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 2.1E-01 B系: 指示値 ND 検出限界値 2.1E-01 (2/6 11:00 現在)	
使用済燃料プール 水温度	19.6 °C (2/6 11:00 現在)	19.2 °C (2/6 11:00 現在)	18.0 °C (2/6 11:00 現在)	※5 (2/6 11:00 現在)
FPC 貯槽水位	3.75 m (2/6 11:00 現在)	4.10 m (2/6 11:00 現在)	5.28 m (2/6 11:00 現在)	40.0 X100mm (2/6 11:00 現在)

(計測値に関する事項)
※1: 指示値が0.00vol%と表示される場合は、計測精度が極めて低い場合は、計測精度により0.00vol%と表示される場合があります。
※2: 指示値が検出限界値未満の場合にNDと表示する。原子炉格納容器ガス管理システム放射能濃度 (Xe135) を記録する。
※3: 使用済燃料プール・圧力容器内滞留した量を記録する。
※4: 異常検知装置中
※5: 4号機格納容器プール水位第一検出停止装置中
※6: 1号機格納容器プール水位第一検出停止装置中
※7: 作業中に11、原子炉格納容器プール水位第一検出停止装置中
※8: 作業中に11、原子炉格納容器プール水位第一検出停止装置中

サブドレン等核種分析結果

(データ集約: 2/6)

採取場所	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 5号機サブドレン	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 6号機サブドレン	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 深井戸
試料採取日	2019年7月19日	2019年7月19日	2019年8月16日	2019年8月16日	2019年9月20日	2019年9月20日
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)					
I-131 (約8日)	ND(4.2)	ND(5.6)	ND(5.3)	ND(4.4)	ND(5.5)	ND(3.0)
Cs-134 (約2年)	ND(8.0)	ND(5.6)	9.8	ND(3.7)	ND(6.7)	ND(3.0)
Cs-137 (約30年)	41	ND(3.8)	140	ND(4.3)	120	ND(3.5)
H-3 (約12年)	38	3.2	140	4.0	78	ND(1.8)
全α	ND(1.7)	ND(2.0)	ND(1.7)	ND(2.3)	ND(2.0)	ND(1.8)
全β	77	ND(2.3)	470	ND(2.5)	220	ND(2.1)
Sr-89 (約51日)	ND(170)	ND(0.032)	ND(270)	ND(0.037)	ND(110)	ND(0.015)
Sr-90 (約29年)	17	ND(0.015)	130	ND(0.014)	55	ND(0.0069)

※ NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

※ I-131, Cs-134, Cs-137については、2019年7月20日、8月17日、9月21日公表。

(評価)

H-3, 全β, Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられる。

3/11

4/11

サブドレン等核種分析結果

(データ集約: 2/6)

採取場所	福島第一 1号機 サブドレン	福島第一 2号機 サブドレン	福島第一 3号機 サブドレン	福島第一 4号機 サブドレン	福島第一 5号機 サブドレン	福島第一 6号機 サブドレン	福島第一 構内深井戸
試料採取日時刻	2020年2月5日 7時31分	2020年2月5日 7時24分	2020年2月5日 7時17分	2020年2月5日 7時08分	対象外	対象外	対象外
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)						
I-131 (約8日)	ND(6.4)	ND(15)	ND(3.8)	ND(4.5)	-	-	-
Cs-134 (約2年)	5.5	98	ND(3.9)	ND(4.9)	-	-	-
Cs-137 (約30年)	160	1,900	ND(5.5)	6.7	-	-	-

※ NDは検出限界値未満を表し、() 内に検出限界値を示す。

2020年2月6日

集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果

I-131(Bq/L)

Table with columns for measurement location (測定場所) and dates from 1/19 to 2/5. Rows 1-9 show I-131 concentration data points.

Cs-134(Bq/L)

Table with columns for measurement location (測定場所) and dates from 1/19 to 2/5. Rows 1-9 show Cs-134 concentration data points.

Cs-137(Bq/L)

Table with columns for measurement location (測定場所) and dates from 1/19 to 2/5. Rows 1-9 show Cs-137 concentration data points.

<測定箇所>

- ①4号T/B建屋南東
②プロセス主建屋北東
③プロセス主建屋南東
④プロセス主建屋南西
⑤機固体廃棄物処理建屋南
⑥サイトハンカ建屋南西
⑦焼却工作建屋 西側
⑧機固体廃棄物処理建屋北
⑨サイトハンカ建屋南東

※I-131はサブドレン・測定を実施していません。
※⑥は④が採取不可となったため、地下水流の上流側として測定し、週1回程度の頻度で測定(2011/4/29~)
※⑦は地下水流の下流側であることから、追加で測定(2011/5/26~)
※⑧を追加で測定(2011/5/30~)
※⑨を追加で測定(2011/8/2~)
※印は検出限界値未満を示し、() 内に検出限界値を示す。

5/11

6/11

福島第一原子力発電所 サブドレンのPu分析結果

1. 測定結果

(データ集約:2/6)

(単位: Bq/L)

採取場所	採取日	Pu-238	Pu-239+240
2号機サブドレン	2019年7月19日	ND [5.2×10 ⁻⁴]	ND [5.2×10 ⁻⁴]
5号機サブドレン		ND [4.7×10 ⁻⁴]	ND [5.1×10 ⁻⁴]
2号機サブドレン	2019年8月16日	ND [4.5×10 ⁻⁴]	ND [5.0×10 ⁻⁴]
6号機サブドレン		ND [5.1×10 ⁻⁴]	ND [5.1×10 ⁻⁴]
2号機サブドレン	2019年9月20日	ND [4.7×10 ⁻⁴]	ND [4.7×10 ⁻⁴]
深井戸		ND [5.0×10 ⁻⁴]	ND [5.0×10 ⁻⁴]

[]内は検出限界値を示す

2. 分析機関

株式会社 化研

3. 評価

今回測定した試料からはPu-238, Pu-239+240は検出されなかった。

以上

2020年2月6日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所構内排水路分析結果

単位: Bq/L

	A排水路					物揚場排水路						
	1月31日	2月1日	2月2日	2月3日	2月4日	2月5日	1月31日	2月1日	2月2日	2月3日	2月4日	2月5日
採取日	7:42	7:40	7:30	7:20	7:18	7:30	7:47	7:45	7:35	7:25	7:23	7:30
採取時刻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
降雨量 (mm/日)	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中
流量 (m ³ /秒)	ND(0.70)	ND(0.64)	ND(0.91)	ND(0.77)	ND(0.56)	ND(0.61)	ND(0.81)	ND(0.74)	ND(0.44)	ND(0.57)	ND(0.53)	ND(0.71)
Cs-134(約2年)	6.8	7.7	7.6	7.6	7.9	9.3	3.1	1.5	1.4	1.4	1.6	1.1
Cs-137(約30年)	15	13	15	13	15	16	8.6	ND(2.8)	3.5	ND(2.9)	3.9	ND(2.8)
全β	-	-	-	-	-	分析中	-	-	-	-	-	分析中
H-3(約12年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

単位: Bq/L

	K排水路					BC排水路						
	1月31日	2月1日	2月2日	2月3日	2月4日	2月5日	1月31日	2月1日	2月2日	2月3日	2月4日	2月5日
採取日	6:00	7:10	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:42
採取時刻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
降雨量 (mm/日)	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中
流量 (m ³ /秒)	2.1	1.2	1.0	ND(0.61)	ND(0.77)	ND(0.73)	ND(0.57)	ND(0.67)	ND(0.58)	ND(0.62)	ND(0.70)	ND(0.65)
Cs-134(約2年)	32	19	13	8.2	8.2	7.9	ND(0.78)	ND(0.86)	ND(0.78)	ND(0.89)	ND(0.84)	ND(0.85)
Cs-137(約30年)	47	29	18	9.3	13	11	3.9	ND(3.1)	ND(3.0)	ND(2.6)	ND(2.7)	ND(3.2)
全β	-	-	-	-	-	分析中	-	-	-	-	-	分析中
H-3(約12年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

* 太枠内が今回公表予一タ。他は2月5日までにお知らせ済み。

* 測定対象外の項目は「-」と記す。

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

7/11

2020年2月6日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(1/3)護岸地下水

単位: Bq/L (塩素除く)

採取日	地下水観測孔 No.0-1	地下水観測孔 No.0-1-2	地下水観測孔 No.0-2	地下水観測孔 No.0-3-1	地下水観測孔 No.0-3-2	地下水観測孔 No.0-4	地下水観測孔 No.1	地下水観測孔 No.1-6	地下水観測孔 No.1-8	地下水観測孔 No.1-9(注)	地下水観測孔 No.1-11	地下水観測孔 No.1-12	地下水観測孔 No.1-14	地下水観測孔 No.1-16	地下水観測孔 No.1-17
採取時刻										2月3日					
塩素(単位: ppm)										8.32					
Cs-134(約2年)										58					
Cs-137(約30年)															
その他															
γ															
全β										24					
H-3(約12年)										390					
SI-90(約29年)										分析中					

採取日	12号機 ウェルポット 汲み上げ水	地下水観測孔 No.2	地下水観測孔 No.2-2	地下水観測孔 No.2-3	地下水観測孔 No.2-5(注)	地下水観測孔 No.2-6	地下水観測孔 No.2-7	地下水観測孔 No.2-8	23号機 改修ウエル 汲み上げ水	地下水観測孔 No.3	地下水観測孔 No.3-2	地下水観測孔 No.3-3	地下水観測孔 No.3-4	地下水観測孔 No.3-5(注)	34号機 改修ウエル 汲み上げ水
採取時刻															
塩素(単位: ppm)															
Cs-134(約2年)															
Cs-137(約30年)															
その他															
γ															
全β															
H-3(約12年)															
SI-90(約29年)															

* 太枠内が今回公表データ。他は2月4日にお知らせ済み。
* NIは検出限界値未満を表し、「その他γ」を除き()内に検出限界値を示す。
* 測定対象外の項目は「-」と記す。また、「その他γ」は検出されたときに記す。
(注) No.1-9, 2-5, 3-5は、採水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としてる過後に測定。

8/11

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(2/3)護岸地下水

単位: Bq/L (塩素除く)

採取日	地下水観測孔 No.0-1	地下水観測孔 No.0-1-2	地下水観測孔 No.0-2	地下水観測孔 No.0-3-1	地下水観測孔 No.0-3-2	地下水観測孔 No.0-4	地下水観測孔 No.1	地下水観測孔 No.1-6	地下水観測孔 No.1-8	地下水観測孔 No.1-9(注)	地下水観測孔 No.1-11	地下水観測孔 No.1-12	地下水観測孔 No.1-14	地下水観測孔 No.1-16	地下水観測孔 No.1-17
採取時刻										2月5日 9:23					
塩素(単位: ppm)										50					
Cs-134(約2年)															
Cs-137(約30年)															
その他															
γ															
全β										230					
H-3(約12年)										分析中					
Sr-90(約29年)															

採取日	1,2号機 ウエルポイント 汲み上げ水	地下水観測孔 No.2	地下水観測孔 No.2-2	地下水観測孔 No.2-3	地下水観測孔 No.2-5(注)	地下水観測孔 No.2-6	地下水観測孔 No.2-7	地下水観測孔 No.2-8	2,3号機 汲み上げ水	地下水観測孔 No.3	地下水観測孔 No.3-2	地下水観測孔 No.3-3	地下水観測孔 No.3-4	地下水観測孔 No.3-5(注)	3,4号機 汲み上げ水
採取時刻						2月5日 9:02	2月5日 9:13								
塩素(単位: ppm)							480								
Cs-134(約2年)						ND(0.28)	ND(0.47)								
Cs-137(約30年)						ND(0.40)	2.3								
その他															
γ															
全β						270	360								
H-3(約12年)						分析中	分析中								
Sr-90(約29年)															

* NDは検出限界値未満を表し、「その他γ」を除き()内に検出限界値を示す。
 * 測定対象外の項目は「-」と記す。また、「その他γ」は検出されたときに記す。
 (注) No.1-9, 2-5, 3-5は、採水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としてる過後に測定。

9/11

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(3/3)海水

単位: Bq/L

	福島第一 5.6号機 放水口北側 (T-1)	福島第一 6号機 取水口前	福島第一 物撈場前	福島第一 1~4号機 取水口内北側 (東防波堤北側)	福島第一 1~4号機 取水口内南側 (遮水壁前)	福島第一 南放水口 付近 (T-2)	福島第一 港湾口	福島第一 港湾内 東側	※ 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日	2月5日	2月5日	2月5日	2月5日	2月5日	2月5日	2月5日	2月5日		
採取時刻	7:50	7:40	7:25	7:10	7:14	6:50	6:49	6:47		
Cs-134 (約2年)	ND(0.78)	ND(0.60)	ND(0.55)	ND(0.42)	ND(0.45)	ND(0.62)	ND(0.58)	ND(0.34)	60	10
Cs-137 (約30年)	ND(0.72)	0.61	ND(0.45)	ND(0.52)	2.9	1.6	0.49	0.51	90	10
全β	—	ND(14)	ND(14)	15	ND(14)	11	ND(14)	ND(13)		
H-3 (約12年)	—	—	—	—	—	—	—	—	60,000	10,000
Sr-90 (約29年)	—	—	—	—	—	—	—	—	30	10

単位: Bq/L

	福島第一 港湾内 西側	福島第一 港湾内 北側	福島第一 港湾内 南側	福島第一 港湾中央	福島第一 北防波堤 北側 (T-0-1)	福島第一 港湾口 北東側 (T-0-1A)	福島第一 港湾口 東側 (T-0-2)	福島第一 港湾口 南東側 (T-0-3A)	福島第一 南防波堤 南側 (T-0-3)	※ 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日	2月5日	2月5日	2月5日	2月5日	2月5日	2月5日	2月5日	2月5日	2月5日		
採取時刻	6:43	6:41	6:51	6:45							
Cs-134 (約2年)	ND(0.25)	ND(0.28)	ND(0.32)	ND(0.50)						60	10
Cs-137 (約30年)	0.32	ND(0.36)	ND(0.28)	0.56						90	10
全β	ND(13)	ND(13)	15	ND(15)						60,000	10,000
H-3 (約12年)	—	—	—	—						30	10
Sr-90 (約29年)	—	—	—	—							

* NDは検出限界値未満を意味し、()内に検出限界値を示す。

* 測定対象外の項目は「—」と記す。

* 物撈場前は、シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

※ 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
(別表第1第六欄:周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

10/11

2020年2月6日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 地下水バイパス 一時貯留タンク分析結果

単位: Bq/L

項目	Gr1(グループ1)		適用目標	※1 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
	東京電力	第三者機関			
採取日	2020年1月30日	2020年1月30日			
採取時刻	7:58	7:58			
貯水量 [m ³]	2,090	2,090			
セシウム134	ND(0.51)	ND(0.54)	1	60	10
セシウム137	ND(0.58)	ND(0.52)	1	90	10
その他ガンマ核種	検出なし	検出なし	検出されないこと※2		
全ベータ	ND(0.67)	ND(0.52)	5(1) ^(注)		
トリチウム	110	120	1,500	60,000	10,000

* 第三者機関: 日本分析センター

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

(注) 適用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を1 Bq/Lに下げた上で実施。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
(別表第1第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

※2 セシウム134, セシウム137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。



15:42受

1/3

~~様式0-1(1/2)~~

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第20783報)

2020年2月6日15時15分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第12993報他でお知らせした、地下貯水槽周辺の観測孔において全ベータ放射能が上昇した事象、及び第13274報他でお知らせした、地下貯水槽i南西側及び北東側の漏えい検知孔水において全ベータ放射能が上昇した事象について、下記のとおり水の分析を実施しましたので、お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下貯水槽観測孔 分析結果 [採取日 2月5日] ・地下貯水槽 分析結果 [採取日 2月5日] <p>今回の分析結果は、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。</p> <p>引き続き、地下貯水槽周辺の監視を行うとともに、全ベータ放射能が上昇した原因を調査していきます。</p> <p>【公表区分：D統】</p> <p>※添付の有・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/3

2020年2月6日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

地下貯水槽観測孔 分析結果(2020年2月5日分)

地下貯水槽観測孔(i~iii)												
	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	A10	A11	A12
採取時刻		8:17				8:27				8:35		
全ベータ(Bq/L)		ND(21)				ND(21)				ND(21)		

地下貯水槽観測孔(i~iii)										地下貯水槽観測孔(vi)		
	A13	A14	A15	A16	A17	A18	A19	B1	B2	B3		
採取時刻		8:44				8:51						
全ベータ(Bq/L)		ND(21)				ND(21)						

(注)NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

2020年2月6日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

地下貯水槽 分析結果(2020年2月5日分)

地下貯水槽(ドレン孔水)														
	i		ii		iii		iv		v		vi		vii	
	北東側	南西側	北東側	南西側	北東側	南西側	北東側	南西側	北西側	南東側	北西側	南東側	北東側	南西側
採取時刻			9:24	9:03										
全ベータ(Bq/L)			ND(19)	ND(19)										

地下貯水槽(漏えい検知孔水)														
	i		ii		iii		iv*		v*		vi		vii*	
	北東側	南西側	北東側	南西側	北東側	南西側	北東側	南西側	北西側	南東側	北西側	南東側	北東側	南西側
採取時刻			9:18	9:10										
全ベータ(Bq/L)			8,300	ND(21)										

(注)NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

*漏えい検知孔iv、v、viiは、採取対象としていない。

15:42 受

1/1

様式 9-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第20784報)

2020年2月6日 15時15分

内閣総理大臣、原子力規制委員会、福島県知事、大熊町長、双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第20743報他でお知らせしたとおり、3号機原子炉注水設備については、3号機の燃料デブリ冷却状況の確認試験の注水停止からの注水再開に伴い、運転上の制限「任意の24時間あたりの注水量増加幅 1.0m³/h以下」に対し、特定原子力施設に係る実施計画「Ⅲ 特定原子炉施設の保安」第1編第32条(保全作業を実施する場合)第1項を適用し、3号機原子炉注水流量変更を2月5日10時42分に行いました。</p> <p>3号機原子炉注水流量変更後、24時間が経過し、関連監視パラメータについては、異常ないことから、本日11時11分に特定原子力施設に係る実施計画「Ⅲ 特定原子炉施設の保安」第1編第32条(保全作業を実施する場合)第1項の適用を解除しました。</p> <p>また、3号機の原子炉注水設備については、3号機燃料デブリ冷却状況の確認試験に関連し、本日14時43分、原子炉注水量を以下のとおり変更しました。</p> <p><原子炉注水量変更></p> <p>3号機 炉心スプレイ系原子炉注水量 : 1.4m³/h → 2.0m³/h</p> <p>【公表区分：E】</p> <p>※添付の有・<input checked="" type="radio"/>無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

15:42受

1/1

様式9-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第20785報)

2020年 2月 6日 15時 35分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 本日、2号機原子炉建屋大物搬入口2階片付作業に従事していた協力企業作業員について、放射性物質の内部取込の可能性があると判断しました。</p> <p>状況は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判断時刻 15時12分 ・発生場所 2号機原子炉建屋 ・作業内容 原子炉建屋大物搬入口2階片付作業 ・汚染状況 鼻腔スミヤで汚染検出(約900cpm) ・汚染箇所 顔面(口まわり) <p>現在、除染を実施中です。詳細は分かり次第連絡します。</p> <p>【公表区分：E】</p>
その他の事項の対応(注3)	※添付の有・ <input checked="" type="radio"/> 無
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

17:51受

様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第20786報)

2020年 2月 6日 17時 45分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所 (注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類 (注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要 (注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第20785報でお知らせした、2号機原子炉建屋大物搬入口2階片付作業に従事していた協力企業作業員の、放射性物質の内部取込の可能性の件について、その後の状況をお知らせします。</p> <p>当該作業員の汚染した顔面(口まわり)について除染が完了し、ホールボディカウンタ測定を実施しました。評価の結果、内部取込と判断、内部被ばく線量は1.18mSvで記録レベル(2mSv)未満でした。</p> <p>その後、入退城管理棟救急医療室の医師による問診の結果、内部取込の疑いはあるが異常なしと診断されました。</p> <p>【公表区分：E統】</p>
その他の事項の対応 (注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。